

## 現在（採用後）の仕事内容

---

私は、令和6年4月に採用され、会計課用度係、検務部門記録担当を経て、検察官立会として働いています。

会計課では、主に物品の管理、庁舎の保全業務等を経験し、検察庁の運営に携わることの難しさ、重要さを経験できました。

記録担当では、事件記録の保存・保管をするだけでなく、請求内容に応じた閲覧・謄写業務など経験できました。

立会事務官としては、毎日が学びの連続で、検察官は頭の回転が速く、仕事に対しての情熱がすごく、刺激を受けながら検察官と仕事をしています。

## 甲府地検に入庁した理由

---

甲府地検に入庁した理由は、地元である山梨県の社会の安全・秩序の維持に携わる仕事がしたいと考えたからです。

また、甲府地検は、他庁と比べ少人数であることから、自分の担当以外の業務にも挑戦できると業務説明会等で知ることができたからです。

## 検察庁で働いてみた感想・職場の雰囲気

---

入庁前は、堅苦しいイメージがあり、仕事もついていけるか心配でした。

しかし実際には、業務上、真面目にならなければいけないこともありますが、雑談等でリラックスして仕事をすることもできます。

また、分からないことなど相談しやすく、気さくな上司や先輩方が多く、とても働きやすいです。

## 採用面接などの体験談

---

面接は、志望動機や自分が頑張ってきたことを深掘りされました。

様々な場所で何度も面接を経験したので、自分の伝えたいことを伝えることができました。

## 国家公務員採用試験受験者へのメッセージ

---

検察庁の仕事は、どんなことをするのか想像することが難しいと思います。

業務説明会や座談会などで少しでも知ることができる機会が多くありますので、こ

れを見て少しでも興味・関心が生まれましたら、是非業務説明会や座談会に参加していただければと思います。

## 令和7年4月採用 大卒程度試験 20代 男性職員

### 現在（採用後）の仕事内容

私は令和7年4月に採用され、捜査公判部門事件管理担当に配属となった後、同年10月からは検察官の立会事務官となり、現在も引き続き立会事務官として勤務しています。

事件管理担当では、各検察官が担当する公判の期日表の作成、弁護人の証拠閲覧及び接見の対応、公判請求時や判決時の記録の確認作業等を行っていました。

立会事務官となってからは、検察官と共に取調べ等の捜査事務や、証拠等関係カードの作成等の公判事務を行っています。

### 甲府地検に入庁した理由

国家公務員を目指そうと思ったのと同時に山梨県内で働きたいとも思い、対象となる官庁を探したところ、検察庁を見つけたのがきっかけです。

法学部出身だったこともあり、自分が学んだことが生かせる職場だと思い検察庁を志望しました。

また、検察庁での勤務を続けると、検察官になれる機会があるというのも志望理由です。

### 検察庁で働いてみた感想・職場の雰囲気

検察庁に入庁する前は、厳格な雰囲気が漂う職場なのかなと思っていましたが、実際に働いてみると、そんなことはなく和気藹々とした雰囲気で働ける場所だと思います。

また、分からないことがあったら、周囲の方々に聞くと快く教えてくれるので、働きやすい環境の職場だと思います。

### 採用面接などの体験談

志望動機などの一般的な質問はされました。

ただ、真面目な質問だけでなく、旅行先で特に思い出深い場所はあるか、お気に入りのラーメン屋はあるかなどのように、面接の雰囲気を和ませるような質問もされたことが印象に残っています。

## 国家公務員採用試験受験者へのメッセージ

---

採用試験は大変だと思いますが、とにかくまずは筆記試験を突破できるように対策をすることが大切だと思います。

面接対策は筆記試験日以降でも十分間に合います。

座談会や業務説明会などに参加していただければ、より検察庁の雰囲気や実態などが分かると思うので、もし検察庁に少しでも興味があれば、是非参加してください。

## 令和7年4月採用 高卒程度試験 20代 女性職員

### 現在（採用後）の仕事内容

---

私は令和7年4月に甲府地方検察庁に採用され、1年間会計課用度係に所属した後、令和8年4月から捜査公判部門事件管理担当に所属しています。

用度係では、主に物品の購入・管理、役務の契約、支払い業務などを行っていました。検察庁を支える上で欠かせない仕事であり、責任とやりがいを感じました。

事件管理担当では、公判請求及び判決の記録の点検、弁護士の記録閲覧や接見の対応、通訳人の対応などを行っています。1年目とは仕事内容が大きく変わり、慣れるまでは大変ですが、上司に教わりながら業務を身につけています。

### 甲府地検に入庁した理由

---

私は専門学生の時、国家公務員になりたいと考えていました。国家公務員には様々な業種があるため、まずは業務説明会に参加し、仕事内容や職場の雰囲気を知ろうと思いました。そこで事件系の仕事や検察事務官の仕事に興味を持ち、入庁したいと思いました。

### 検察庁で働いてみた感想・職場の雰囲気

---

採用前は、検察庁は馴染みのない場所だったため、どのような雰囲気なのか不安もありました。しかし、実際に働いてみると、先輩方は困ったときに助けてくださり、分からないことも相談しやすい温かい職場だと感じています。

### 採用面接などの体験談

---

面接官の方々の雰囲気が温かく、落ち着いて受け答えをすることができました。主に自分が答えたことに対しての深掘りが多かったと思います。面接は何度練習しても緊張しますが、焦らず落ち着いて受け答えをすることが大切だと思います。

## 国家公務員採用試験受験者へのメッセージ

---

私は専門学校で法律を学んでいなかったため、不安でしたが、入庁してから少しずつ学んで身につけています。国家公務員は業種が幅広いので、積極的に業務説明会に参加して仕事内容や職場の雰囲気を知ること、自分に合った仕事を見つけやすくなると思います。検察庁に興味のある方は、ぜひお待ちしております。

## 現在（採用後）の仕事内容

---

私は令和7年10月に甲府地方検察庁に採用され、捜査公判部門の事件管理担当に配属された後、令和8年4月からは検察官立会として働いています。

事件管理担当では、公判請求時の起訴状のチェック、記録の点検、通訳人の手配や対応、弁護人の証拠閲覧や接見の対応等を行っていました。

現在は、立会事務官として、検察官の捜査・公判上の手続きを行ったり、取調べに立ち会うなどしています。

立会事務官として働く中、新しく学ぶことばかりで、常に刺激を受けながら仕事をしています。検察官だけではなく、事務官の先輩方にも助けられながら日々業務に励んでいます。

## 検察庁で働いてみた感想・職場の雰囲気

---

甲府地検は、優しい方ばかりで気軽に話しかけてくれるので、大変楽しく仕事をしています。

採用前、私は法律を学んだことがなかったため、仕事についていけるか心配でした。しかし、実際は、上司や先輩に聞きやすい雰囲気で、すぐに分からない点を解決できています。

## 採用面接などの体験談

---

私は、検察庁が第一志望だったこともあり、面接は大変緊張しましたが、和やかな雰囲気で面接が進んでいきました。検察庁への熱意や自分が経験したことを丁寧に聞いていただき、自分の思いを伝えることができました。

## 国家公務員採用試験受験者へのメッセージ

---

国家公務員には様々な職種があります。業務説明会や座談会等に積極的に参加することで、色々な官庁の仕事や雰囲気を知ることができます。ぜひ自分がしたい仕事を見つけてください。

その中で、検察庁に興味を持っていただき、魅力を感じ取ってもらえれば幸いです。